

学校行事でのマスク着用の取扱いについて(例示)

屋外の活動

運動会、体育祭など

- 屋外ではマスクの着用は必要ない。ただし、次の場合においては、マスクを着用する。
 - ・ 競技前の整列や順番待ちなどの際に、身体的距離が取れず、かつ、会話をする場合にはマスクを着用する。
 - ・ クラスの応援の際に、身体的距離が取れず、かつ、声を出す場合にはマスクを着用する。
 - ・ チームで作戦や戦術等の話し合いの際に、身体的距離が取れない場合にはマスクを着用する。
- ※ 雨天などで屋内で実施する際は、運動の場面を除き、基本的にはマスクを着用する。
- ※ 身体的距離や会話の状況に応じて、児童生徒を指導する。

屋内の活動

学校祭、文化祭など

- 屋内ではマスクの着用を推奨する。ただし、次の場合においては、マスクの着用は必要ない。
 - ・ 準備や後片付けの際に、人との距離を取り、会話をしない場合には、マスクの着用は必要ない。
 - ・ クラス展示などでは、入場制限を行うなど、人との距離を取り、会話をしない場合には、マスクの着用は必要ない。
 - ・ ダンスなどのパフォーマンスの練習をする場合には、マスクの着用は必要ない。ただし、話し合いの場面や教え合う場面ではマスクを着用する。
- 食事の際は、黙食を徹底する。(会話をする場合には、マスクを着用する。)



【注意】 夏季において、マスクの着用が不要な場面とされている、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時においては、特に熱中症のリスクが高いことが想定されるため、熱中症対策を優先し、児童生徒に対してマスクを外すよう指導すること。その際には、できるだけ距離を空ける、近距離での会話を控えるといった対応をとること。